

# 万博日本庭園からアサヒビールへ

(第 87 回くらわん会 2003/09/02)

8月の冷夏の反動なのか、このところ連日34度を超える真夏日が続いている。いつもよりちょっと少ないが、それでも万博公園駅に129名のくらわん会愛好者が集まった。

10時過ぎ日本庭園に向けて出発。園内に入るとあの鬼才、岡本太郎製作の万博のシンボルとも言える太陽の塔が目にはいつく。すぐそばまでくるとコンクリートで出来ている塔の肌は荒々しく年月の経過を物語るように蔦が生えあがり、その巨大さに圧倒される。遠目から受ける塔の印象とはずいぶん違っている。

そこをとお祭場までくると、今度は太陽の塔の裏の顔が見えてきた。表の顔は赤や金で装飾され華やかで力強いが、裏のそれは黒っぽく逆光のせいでもあるが暗い感じがする。太陽と月を表現したのであろうか。暫く歩くと日本庭園に着く。広大な地形を利用した庭園が目の前に広がっている。東京に比べ大阪は緑が少ないと言われるがここにくるとそんな感じは全くしない。

一面濃淡の緑一色、それが心字池の水面に映され日本庭園の美を醸し出している。一本ある百日紅がピンクの花をつけているが、これがまたワンポイントのアクセントが利いていい。カメラを構えるが広すぎてアングルの中に入りきれない。少しずつアングルを移動させないと写せない。池には錦鯉が泳ぎ近くに行くと餌をもらえらると思うのか寄ってくる。色とりどりの錦鯉もいいが、鯉が泳いでたてる波紋が気に入って思わずカメラを向けた。

それぞれ庭園内を自由散策し今日は後半のビール工場見学に備え早昼を取るようになった。時間もいつもよりたっぷりある。木陰で景観と会話を楽しみながら握り飯をほおぼる。これもくらわん会の楽しみの一つ。

いよいよアサヒビールに向かって行動開始。公園の西出口までは両脇にポプラなのかプラタナスなのか判らないが高く林立し昼でも薄暗い中に一直線の道が続いている。見上げると道と同じ幅の青空しか見えない。道の両脇はこれも一直線に作られたせせ

残暑厳しい、モノレール万博記念公園駅に百二十九名が集合



出発 万博記念公園の中央ゲートに向かって



中央ゲートを入り今でも輝いている太陽の塔の前をお祭り広場に向かう



季節の花で彩られる太陽の塔横の広場をお祭り広場に向かう







裏の顔は黒一色の書き込みで暗い感じが、太陽と月を表現したのか



日本庭園正面の中央休憩所で自由に昼食タイムに



一本ある百日紅がピンクの花をつけているが、これがまたワンポイントのアクセントが利いている



日本庭園の涼しい木陰で池を眺めながら昼食タイムとなった

らぎにさらさらと水が流れている。やや人工的な感じが強い。

阪急山田駅から阪急吹田まで電車で移動。待望のアサヒビール吹田工場に着く。この暑さだと日本庭園もいいが、喉越しのビールの美味さの方が期待が大きい。昔から花より団子とは良く言ったものだ。工場入り口前にはアサヒビール創業時の建造物のうち唯一現存する赤レンガとステンドグラスの壁画が保存され、往時を忍ばせている。いかにもビール工場の一部と思わせるような重厚さがある。

受付の関、松井、宮崎さんに感じのいい笑顔で迎えられる。こ一時間後にあのビールサーバーから泡と一緒に出てくる冷たいビールが飲める。黒にしようか、スーパードライにしようかな。先ずその前に工場見学。3班に分かれ10分間隔で見学コースへ。

筆者たちのガイドは小松さん。てきぱきした口調で原料の麦芽、ホップ、酵母から始まり、仕込み、醗酵、熟成、ビン詰めまでを説明してくれた。ステンレス製の貯蔵タンクの容量は一日平均大瓶一本飲むとしたら2000年かかる量だと聞き、その巨大さに驚かされた。そのタンクが十数基あるのだから、ビールの消費量の多さは想像を絶するものがある。

いよいよ待望の試飲。アルコール好きにはたまらない。サーバーの前で自分の番になるのが待ち遠しい。最初の小さいコップのハーフアンドハーフは一息に飲み干してすぐスーパードライに。中には手際良くつまみを用意している人もいたが、食品衛生上問題あるとのことで許可されなかった。窓越しの庭園の芝があおく、こちらは西洋風でまた違った味わいがある。アルコールが手伝ってか、あちこちで笑い声が聞こえてくる。みな満足しているようだ。

それぞれ売店でお土産を買って解散。世話役の皆さん素晴らしい企画ありがとうございました。またよろしく願いいたします。

清水次雄記





西口まで木が両脇に高く林立し昼でも薄暗い中に一直線の道が続く、見上げると道と同じ幅の青空しか見えない  
 一面濃淡の緑一色、それが心字池の水面に映され日本庭園の美を醸し出している



ゲストハウス玄関に竣工当時のレンガ壁面がありステンドグラスで飾られていた  
 記念公園西口を出て阪急山田駅までゆく



ゲストハウスでアサヒビールの工場説明を受ける  
 受付の関、松井、宮崎さんに感じのいい笑顔で迎えられる



スーパードライに黒に、ハーフアンドハーフすっかり満足した試飲  
 美味しい合鴨の試食で頬も緩みっぱなし







<行程>

万博記念公園駅⇒中央口⇒お祭り広場⇒ホール前ゲート⇒日本庭園⇒せせらぎ広場⇒西大路⇒西口⇒阪急山田駅⇒阪急吹田駅⇒アサヒビール(現地解散) 約7km

2003年09月02日(火) 第87回例会 129名参加